

南北朝内乱期の神戸を辿るⅡ

2024年9月14日（土）～12月8日（日）

延元元年（建武3年、1336）に起こった湊川の戦いなど、神戸は南北朝内乱の舞台となりました。その内乱の様子を綴った『太平記』は、源平合戦を語る『平家物語』と並び、人々に親しまれ、神戸の地も注目を集めました。市中には、内乱によって生まれた数々の武将たちの逸話が伝わり、神社や寺の縁起や、記念する石碑などの形で、現代を生きる私たちの身近に遺されているものもあります。本展示では、そのうちの一部について、館蔵資料を用いながら、紹介いたします。身近な地域の歴史に触れてみてください。



楠湊川大合戦之図
当館蔵

[出品資料]

指定	資料名（所蔵番号または所蔵）	作者	材質技法	員数	時代
	敏馬浦焼打之図（村上-3-0085）	歌川芳虎	紙本木版色摺	3枚続	江戸時代、弘化4年～嘉永5年（1847-52）
	楠湊川大合戦之図（新1984-003-乾07B）	歌川芳虎	紙本木版色摺	3枚続	江戸時代、弘化4年～嘉永5年（1847-52）
	太平記 湊川の戦に直義寺院に逃入たるを探す図（無題）（村上-3-0048）	五雲亭貞秀	紙本木版色摺	3枚続	江戸時代、弘化4年～嘉永5年（1847-52）
	摂州兵庫求女塚合戦（村上-3-0091）	歌川芳虎	紙本木版色摺	3枚続	江戸時代、弘化4年～嘉永5年（1847-52）
	摂津名所図会（17章-図034-2／新1979-056）	秋里籬島	紙本木版墨摺	2冊	寛政10年（1798）刊